

## 第14回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

- 1 日 時  
平成23年3月15日 9時00分
- 2 場 所  
県庁行政庁舎4階 庁議室
- 3 配付資料  
第14回宮城県災害対策本部会議資料
- 4 議事要旨

### ○東内閣府副大臣

・一人でも生存されている方々を助けると言うことで関係者の方々に必死になって頑張ってもらっている、一方においては、避難所における避難物資が欠乏しており、要望物資が着実に現場に着いているかどうか、具体的なチェックが必要ではないかと改めて感じた。燃料に対しての要請も来ており、18項目についても徹底的に追跡調査した。一例として、石巻日赤病院の件で、石油連盟で手配をしたが、石巻市内は通信が悪く、配送先がわからなかったようだ。

・物資の移送は、要請や指示だけでなく、現地到着の確認が重要。

・急遽、一旦東京に戻り、総理に状況を報告してくる。食料、水、燃料の件について継続して支援するよう関係閣僚に申し上げていきたい。

その間、阿久津内閣府大臣政務官が代役を務めるので宜しく。

### ○小野寺危機管理監

・災害対策本部に兵庫県、奈良県、新潟県から連絡員が到着。

### ○仙台管区气象台

・引き続き余震活動が活発。

### ○今野総務部長

・県庁への避難者、職員安否、施設被害等の状況（資料内容）

・本日、13時30分定例県議会開会、2月補正、H23年当初予算、予備費追加提案200億円を採決予定。

### ○佐藤企画部長

・交通機関、電力、情報システム等の状況（資料内容）

### ○小泉環境生活部長

- ・職員安否，女川原発，水道施設の状況等（資料内容）

○岡部保健福祉部長

- ・所管施設，災害拠点病院の状況（資料内容）
- ・仙台赤十字病院は電気復旧により患者受入可能。メディアの広報お願いしたい。
- ・石巻日赤病院は，一般避難民が500人来ており，避難所化してパンクが近づいている。医療活動にも支障が出ており，山形県等，他への移動を検討する必要がある。
- ・避難所が長期化しているが，燃料，水なく手洗いも出来ず，感染症が心配だ。アルコール等消毒剤について大学の各先生の尽力で200ミリリットル13万500本確保の目処がついている。搬送の日時はわからないが。ターミナルの物資を運び，避難所の物資搬送の際に一緒に避難所に搬送していただきたい。

○小野寺危機管理監

- ・大崎市など近隣の施設の収容能力があるかどうか確認中。

○村井災害対策本部長

- ・他の場所を探しておいてほしい。
- ・石巻市を重点的に願います。これからも大量に避難民は出てくる。

○河端経済商工観光部長

- ・一般の方々の燃料が緊急の課題。
- ・緊急車両用の燃料確保について，県内3ヶ所くらいに専用の供給場所考えている。
- ・山元町の暖房用灯油は，360リットルを大河原合庁で確保し，輸送手段を検討中。
- ・南三陸町が燃料と水を要望しているので追加調達する予定。関西から直接現地に運ぶとの申し出あり。
- ・NPO災害ボランティア福井から11トン水槽車3台の派遣申し出があり，すでに現地出発し，今日中に着くはず。気仙沼1台，石巻2台の予定。

○村井災害対策本部長

- ・飲食料の不足は減ってきているので，燃料を最優先課題として取り組んでほしい。
- ・太平洋側石油のタンクは，仙台を含め，津波で軒並みやられて機能していない。ガソリンがないので搬送出来ない。東京でも物が不足し始めた。
- ・仙台港新日本石油精油所は，今朝，消防課長に確認してもらったが，津波が3～5m来たらしく，早くても2週間～1ヶ月かかるのではないかと。今詳細に検討してもらっている。
- ・山形，秋田，新潟も燃料不足になっている。しばらくは苦しい状況が続く。

○小野寺危機管理監

- ・合庁への定期便を明日から開始する。

○千葉農林水産部長

- ・震災時出港していた20の近海まぐろはえなわ漁船が、帰港先を失っており、水産庁と調整中。
- ・水産庁が宮城県に向けて粉ミルク8,000缶、水150トン。軽油300キロリットルを積んだ漁業取締船で出発したが、2,000トン級をどこに接岸するか。県内には接岸するところがない。どのようにルートを確保するか。

○橋本土木部長

- ・走行可能なルートをホームページに載せる。
- ・産業道路は復旧作業中だが、塩竈七ヶ浜多賀城線は通行可能、建設会社を動員し、私道整備してJX日鉱日石エネルギー仙台製油所への道を確保する。

○村井災害対策本部長

- ・地元の業者も被害を受けている。自衛隊の皆様には本来の仕事ではないので申し訳ないが、遺体の収容や、瓦礫の撤去等よろしくお願いしたい。

○自衛隊

- ・活動状況について（資料内容）

○竹内警察本部長

- ・58名を救出。行方不明の相談ダイヤルは、3,741人の相談を受けている。
- ・旧北上町の状況として、4ヶ所で940名の方が救出を待っている。
- ・海外救助隊が活動予定。拠点はグランディ21。
- ・昨日21時現在で、1,254体の遺体収容、身元判明594名、不明668名。61名をご家族に引き渡している。
- ・南三陸町としては、手続きを踏んでから土葬を実施したいとの考え。顔見知りの遺体は、早く引き取りたいとの要望がある。
- ・山元町は、身元確認は警察でないと出来ないが、引渡しは県職員でも出来るのではないかと意見。

○東北電力（株）

- ・仙台市内は電気供給済み、その他の市町村も復旧が拡大しており、石巻市でも通電が始まっている。

○小林教育長

- ・児童生徒の死亡確認増えている。
- ・石巻工業高校で950名、石巻商業高校で約500名孤立。仮設トイレを送ってくれとの要請が来ている。
- ・志津川高校で約330名孤立、避難者だけでなく、ご遺体もある。
- ・全体的に避難所に指定していない所に避難している人が相当数ある。

- ・各学校は公用車がないので、職員の自家用車を使っているが、緊急車両指定されておらず活動が難しい。各校1台緊急車両に指定して欲しいとの要望。あるいはタクシー券を使うことは出来ないか。

○村井災害対策本部長

- ・各校1台程度であれば、危機対策課長に相談してほしい。タクシー券はばらばらに使うと収拾がつかなくなるので要検討。

○千葉病院局長

- ・今日電気が全部通じた。

○伊藤企業局長

- ・仙南仙塩広域水道240の管は、洗った後徐々に圧力をかけていくが、通常は3週間かかるが、どれくらい短縮できるか検討したい。

- ・大崎地区は今週くらいで目途をつけたい。

○村井災害対策本部長

- ・食べ物、飲み物不足しているという声はだいぶ減ってきた。

- ・やはり燃料を最優先として対応していきたい、当面かなり不足する事態が続く。ここ1週間、10日は、日本中でエネルギーが不足するので、皆で協力しながら何とか乗り切っていきたいと思う。

次回は3月15日18時00分に開催する。